



新宮

木協だより

URL:<http://www.shingumokkyo.com> e-mail:s-mokkyo@cronos.ocn.ne.jp



昭和47年～

令和3年までの

50年に亘り、

木材業界の繁栄と安泰を見守り続けてくれた木霊塔施設

新年のぞく挨拶

新宮木材協同組合

理事長 植松 浩

明けましておめでとう
ございます。旧年中は
組合活動に格別のご指
導・ご協力を賜り誠に
ありがとうございます。ま
した。本年もどうぞよろ
しくお願い申し上げます。

さて、今年は県道の
拡幅とそれに伴う木霊
塔施設の移転について
お話させていただきま
す。
ご承知の通り、木材
会館前の県道あけぼの
広角線が拡幅されるこ
とになり、組合所有地
の一部が対象となりま
した。
拡幅対象地の収用に

ついでには昨年五月の総
会において「組合所有
地収用承認の件」が可
決され、その後県との
間で昨年に売買契約を
締結し、その一年後の
今年六月までに対象地
の構造物等を撤去・更
地化したあと引渡予定
となっております。

そして対象地には木
霊塔施設の一部分が含
まれることから、施設を
移転せざるを得ない状
況になり、昨年「木霊塔
移転等検討委員会」を
立ち上げ協議・検討を
重ねてまいりました。
その結果、施設の場
所については道路拡幅
で収用される部分を除
いた残地部分に新施設

を建設することが決定
され、(株)倉谷建築を元
請けに木霊塔移転工事
契約を昨年十一月に締
結致しました。構造物
等の撤去・更地化・引渡
が必要な拡幅対象地部
分は六月までに工事完
了、そして新施設につ
いては九月中旬までに
完成予定となっております。

工事期間中は何かと
ご不便をおかけします
が、ご協力の程よろし
くお願い致します。
ところで、木霊塔建立
供養式は昭和二十六年
(一九五一年)に始まり
ましたが、当初は本廣
寺院内で行われていた
そうです。現在の木霊
塔施設は木材会館建設
に合わせて作られたも
ので、昭和四十七年(一
九七二年)から現在の
場所です。開催して
おります。
その間半世紀の長き

にわたり業界を見守り
続けてくれましたこと
に感謝を申し上げます
とともに、今年からは新
たな施設で業界に御加
護を賜りたいと思いま
す。

今年寅年です。熊
野速玉大社の大絵馬に
は、たくましい雄のト
ラが二本の前足で「世
の不浄」や「悪いもの」
を意味する岩を押さえ
つけ、口に椰の葉の御
幣をくわえお祓いをし
ている姿が描かれてお
ります。

一昨年から世界中で
猛威を振るっている新
型コロナウイルス感染
症については、日本国
内においてははかなり感
染者数が減ってきてお
りますが、世界的には
再増加傾向との事で、
まだまだ予断を許さな
い状況です。大絵馬の
トラの力を借りて新型
コロナウイルスを押し

えつけ、一昨年・昨年と
コロナ禍ということ
お祭り色をなくし中止
した木霊塔建立供養式
での餅投げを、今年
新たな施設の前で盛大
にできる事を願って
おります。

新型コロナウイルス
感染症が収束し、今年
一年が皆様にとって幸
多い素晴らしい年にな
ることを祈念し、今一
度組合員の皆様にご指
導・ご協力をお願い申
し上げ、新年の御挨拶
とさせていただきます。

謹賀新年

本年も

よろしくお願

い申し上げます

組合員一同



年頭所感

(株)新宮原木市場

社長 谷口 泰仁

新年明けましておめでとうございます。本年も原木市場に対しまして格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の余波により木材業界が昨年春頃からウッドショックと呼ばれる輸入材及び輸入製品が品薄状況となり、その代替品として国産材の需要が急騰する事態となっております。当地域でもその影響から原木価格が高騰し、物によっては2倍から3倍の

単価で取引される事態となっておりまして。そんな状況の中、原木集荷については買方の皆様に迷惑を掛けないうような役員が力を合せて取り組んで参りました。

今年もコロナ禍で先行きが読めない状況ではあります。バイオスが借りていた新宮木材協同組合の土地が今春に返還され、本来の広さで市場運営が可能となります。更に昨年度から実施しております丸太の強度検査ですが、今後も実施し、原木に付加価値を

付けられればと思っております。又、今年こそは社員の定着を図り、人材育成や内部体制の充実とこれまでの弱点を克服して、新宮原木市場が地域の原木流通機関であるという意識を常に持ち、出来る限り皆様のご負担が最小限になるよう心掛けて役員一同懸命に運営を行って参ります。

そうした中で、木主様からの集荷は勿論の事、昨年に引続き本年も自社で山林を購入し今以上に取扱量を増やすべく、「待ち」の姿勢でなく、「攻め」の姿勢で多くの良材を提供できるような努力して行く予定となっております。更にお客様のニーズを先取りした形の対応でお客様目線の迅速な接客・運営についても全役員が心掛けて参り

ます。これからも無くてはならない存在だと再認識して頂けるよう与えられた役割をしっかりと果たして行きます。

最後に木材の街新宮に在ってその中心的役割を果たしてきたプライドと意地を忘れず、新宮から原木市場の火が消えないように何が何でも頑張つて参りますので関係の皆様方には更なるご支援・ご協力をお願い致します。新年にあたりご挨拶とさせていただきます。

謹賀新年

旧年中の
お引立てとご愛顧に
厚く御礼申し上げます
本年も倍旧のお引立て
を賜りますよう
お願い申し上げます
(株)新宮原木市場役員一同



(株)新宮原木市場

新春初市

1月22日(土) 午前10時開市



新宮・紀宝道路関係
 (工事経過報告)

木材会館裏の元原木市場貯木場では新宮・紀宝道路のための盛土工事が急ピッチで進んでおります。元々同場所は明治、大正から昭和中期までは水面貯木場として利用され、その後は埋め立てられて原木市場の貯木場として一段下がった状況の中で原木の競り市が行なわれました。令和元年度に新宮・紀宝道路用地として一部収用されその後前述通り盛土が進められており、今後盛土の高さが木材会館の屋上部分の高さくらいまでなるようです。又本工事の関係で県道にはボックスカルバート工事が進められ、今年春頃には姿が見えて来るようです。報道情報によると新宮・紀宝道路の開通は令和6年秋頃の予定です。



県道拡幅工事と
 木霊塔施設移転

昨年夏頃より県道拡幅工事のための側溝新設工事が始まりました。木材会館前道路の上貯木場側の工事が昨年末でほぼ終了致しました。今後は木材会館側の側溝工事や歩道工事となりますが、その前に組合の方で現在の木霊塔及び周辺施設の移転が必要となります。移転先は少し狭くなりますが現在地の収用残地内で夫々の施設を移転配置して敷地内を整備することとなっております。今年2月頃から工事に入り9月頃には完成予定となっております。よって県による木材会館前の側溝工事や歩道工事は県道沿の木霊塔関連施設や植木部分を撤去した後になる見込みです。

全木連会長賞受賞

瀬古伸一郎氏

北海道札幌市で第56回全国木材産業振興大会が開催されました。この大会で行なっております木材産業功労者への表彰で、長年新宮木材業界でご活躍されている、当組合副理事長の瀬古伸一郎氏が全木連会長賞を受賞されました。表彰状の授与は当組合の1月の理事会で植松理事長より伝達させて頂きます。

(株)新宮原木市場主催
 秋の記念市開催

毎年恒例の新宮秋まつりはコロナの影響で中止となりましたが、新宮原木市場単独で記念市が昨年10月18日・午前10時から開催されました。

今回は前年に比べウッドショックで価格が高騰していることもあり、平



均単価はかなり高くなりました。集荷量も多くなり、いに盛況で終わりました。有難うございます。
 集荷量：1381m³
 平均単価：
 杉：1万5900円
 杉：1万3300円
 桧：2万3600円

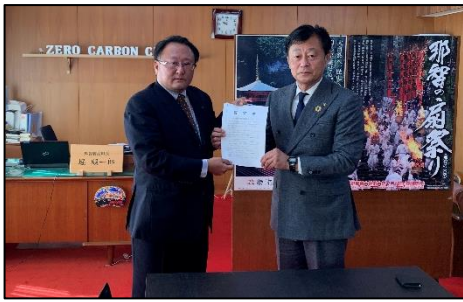
記念市の風景

キャラバン活動

コロナ禍ではありませんが、公共建築物に於ける紀州材の利用促進を図るため和歌山県木連、和歌山県森連、紀州林業懇話会で組織する和歌山県木材利用推進協議会では、例年近隣自治体を訪問してキャラバン活動を行っています。昨年も11月29日(月)に次の通り実施し紀州材のPRに努めると共に木造住宅への補助金

や日頃から木材利用を念頭に公共事業を検討して頂いている事への感謝を伝えました。その中で今回も木材の新しい活用方法として木製ネームカードを事前に製作しサンプル品を各市町村の首長に提供しました。更に、住宅や建物以外の木材の利用先の提案も併せて行ない木材の利用拡大をお願いしました。

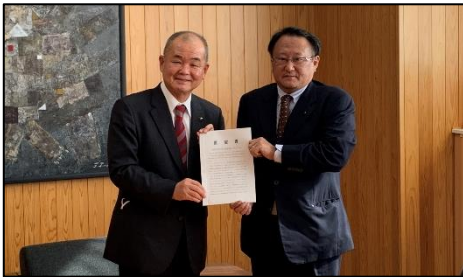
サンプル品のネームカード



午前10時
那智勝浦町を訪問



午前11時
太地町を訪問



午後1時
新宮市を訪問



午後2時30分
北山村を訪問

第62回木霊塔建立供養式

令和3年10月15日組合恒例行事の第62回木霊塔建立供養式を開催致しました。62回目の木霊塔行事は前回に引続き県道拡幅工事の関係や新型コロナウイルス感染症の影響により行事を縮小し供養のみ執り行いました。その為、来賓の招待やモチ投げ、木やり音頭、木工展の表彰式といったお祭色を全て無くしました。

更に、献木者も前回同様県道工事で木霊塔施設の一部が収用されることとなっていることから組合員へ献木をお願いするとご迷惑を掛ける可能性あると考え、新宮木材協同組合組合員一同が献木者となり木霊塔を献木致しました。当日は秋晴れの爽やかな晴天となり、本広寺清水文雅住職にお勤め頂き滞りなく厳かに供養を執り行ない式典を終了しました。



鈴木江郎先生による揮毫



組合員を代表して理事長より祭文



組合員一同 献木の木霊塔

親子木工教室
リモート開催

今回はコロナの感染を
考えインスタグラムのラ
イブ配信を活用したオン
ライン同時製作で実施し
ました。8月1日(日)
は朝9時から木材会館の
駐車場にて受付、インス
タライブの説明、苗木、原
木、製品材の説明、製作キ
ット受渡場と各ブースを
設け、参加者に回って貰
い、森林学習を受けた後
キットをお渡しする流れ
にしました。午後3時か
らは会員によるライブ配
信。応募頂いた方とリア
ルタイムで製作しました。
配信中は「もう一度教え
て」や「もっとゆっくり」
等のコメントを頂きなが
ら無事に実施することが
出来ました。又、最終的に
参加人数も当初の予定に
大幅に超え、余分に用意
した160セット全てが皆様
の手に渡りました。準備
に時間が掛かりましたが
大きなトラブルも無く、
沢山の方にご参加いた



き、完成写真や楽しさ嬉
しさが伝わるメッセージ
を多数頂戴し大成功を取
めました。初めは不安が
大きかったですが、会員
や関係者の方々のご理解
ご協力により新緑会の歴
史に新しい1ページを刻
めたことを感謝申し上げ
ます。
(加藤 栄作)



送って貰った完成写真



ライブ配信の風景



原木の説明

丹鶴城
木製橋改修工事

丹鶴城の敷地内にある
木製の橋桁が老朽化し朽
ち果てていた為、新宮市
からの依頼で改修工事
を行いました。橋の手摺
部分は既存の物を使用し
、それ以外は全て一新し
作り直しました。観光で
来られる方や日々の散歩
で通る方がいる中、事故
が起きる前に改修できて
何よりです。是非、皆さん
も一度修復した橋を渡り
に行ってみて下さい。
(野中 亮伸)



改修後の木製橋

第43回 児童生徒
木工工作コンクール

第43回 児童・生徒木工
工作コンクールは昨年の
経験を活かし、コロナ禍
でも感染対策をしっかりと
講じた上で、例年通り会
場を設営し作品を展示す
ることと致しました。又、
昨年同様、Webでの展示も
実施し、会場に来ること
がまだ気になる方は来場
しなくとも作品を見える
形を取りました。大きな
対策として、会場内が一
方通行となるよう作品棚
を配置し、人が密集しな
いようにしました。今回
は会員が知恵を出し、コ
ロナ禍でも感染のリスク
を抑え、児童・生徒が一
懸命作った作品を多くの
方に見てもらえる方法
は無いか前向き模索した
結果実現した木工展でし
た。更に、木工展の開催
にご理解、協賛いただいた
各団体の方々、各中小
学校の先生方、その他お
世話になった皆様方に
この場をお借りして厚くお

申し上げます。

新緑会 HP



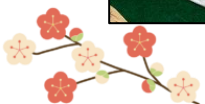
尚、本展では27校、379
点の木工作品が展覧され
、その内22点が各賞に輝
き、最優秀賞の三賞は全
国大会の審査にエントリ
ーさせて頂いており、そ
の中で優秀作品に選ば
れた作品は今年5月に北
海道で行われる全国大
会で表彰される予定
です。
(三島 彬)



三賞の作品



一方通行で観覧



出張

木工教室



紀南木材新緑会では新宮市及び東牟婁の小学校・中学校を対象に、木のぬくもりに触れ、木に親しんでもらうことを目的とした、出張木工教室を毎年開催しています。

昨年コロナ禍ではありますが、制作キットを簡単なものに変更し出来るだけ児童と接触する機会を減らす感染対策を行った上でマスクや検温、消毒を徹底し事業を実施致しました。

内容はまず、森林教育として実際に山林の立木を前に新宮の木材の歴史・木の成長に掛かる時間・山の役割等を説明し、「木」の役割を説明、その後実際に木材キットに触れ、ヤスリ掛け、ボンド付作業を経てサイコロ型パズルを製作しました。腕が痛いと言いながら一生懸命ヤスリ掛けを行ない、楽しそうにしている子供達に、改めまして活動の

意義を感じました。この活動を通して、子供達の心に木と触れ合った記憶が刻まれ、少しでも興味を持って頂けたら幸いです。

又、本事業にご参加、ご協力頂いた全ての皆様に、心より御礼申し上げます。更に、紀の国森づくり基金の補助金を活用させて頂き有意義な活動が出来ることに本当に感謝致します。

今後とも未来ある世代に木と親しむ時間を提供し、木に触れあえる場を作って参ります。

(岡崎 俊樹)



森林教育の風景



体育館での木工体験(王子ヶ浜小学校)

近畿大学付属
新宮中学校
林業木材業体験

10月28日(木)に3回目となる近畿大学付属新宮中学校3年生33名を対象とした林業木材業体験を実施しました。これは学校側が和歌山県の緑育推進事業を利用し実施している事業となります。当日は朝から教室で林業や新宮の木材の歴史を学び、その後教室を飛び出し、熊野川町で間伐・玉切り体験、午後からは新宮市内に戻り、当会が原木市場見学、製材所見学、プレカット工場見学、木工教室、棟上げ体験と川上から川下までを贅沢に盛り込んだ木育体験教育となっております。

新緑会も負担が大きいです。生徒から「新宮が地元で誇らしい」と「この経験は忘れません」など、嬉しい言葉を沢山頂きました。この事業にご協力頂いた関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

(野中 亮伸)



HINANMOKUZAI.SHINRYOKUHA



教室での事前学習



山での間伐体験



板美製材所での見学



簡易キットで棟上げ体験

那智勝浦町
名誉町民記念品製作

那智勝浦町から名誉町民となられた「中村 覚之助氏」の御親族へ贈る記念品の製作依頼が新宮木材協同組合へあり、当会で担当させて頂くこととなりました。実際に製作をしたのは会員の(榎)倉谷 建築倉谷氏で、幅30cm高さ40cmの立派な紀州桧板に中村 覚之助氏の写真を印刷した物を納品させて頂きました。

昨年11月3日(水)行われた八咫鳥シンポジウムで贈呈式典があり、御親族へ堀町長から手渡されました。親族・町長とも大変喜んで頂き今回、このような名誉あるお仕事に携われたことに心より光栄に思います。

(倉谷 良太)



製作した記念品



◆◆◆原木市場平均単価◆◆◆

樹種	形状	令和3年			備考	
		10月	11月	12月	長さ(m)	径(cm)
杉	4m 小丸太材	8,600 (7,900)	8,800 (7,900)	8,800 (8,100)	4	6~13
	3m 14~20	11,600 (9,100)	10,900 (10,200)	10,900 (10,600)	3	14~20
	3m 22cm上材	14,200 (11,500)	11,900 (11,200)	13,400 (11,000)	3	22~
	4m 14~22	12,400 (8,500)	12,000 (8,700)	12,000 (10,500)	4	14~22
	4m 24cm上材	14,700 (10,900)	13,700 (11,300)	13,300 (11,900)	4	24~
檜	4m 小丸太材	9,300 (0)	6,700 (8,100)	9,700 (0)	4	6~13
	3m 14~20	21,600 (9,800)	19,700 (10,900)	20,100 (10,800)	3	14~20
	3m 22cm上材	22,500 (13,800)	19,900 (10,800)	18,100 (10,700)	3	22~
	4m 14~22	23,100 (10,500)	19,700 (11,000)	19,400 (12,100)	4	14~22
	4m 24cm上材	25,700 (19,700)	22,000 (13,900)	23,500 (13,400)	4	24~
杉総平均単価		13,300 (10,100)	12,200 (10,900)	12,300 (11,300)		
檜総平均単価		23,600 (12,100)	20,600 (12,000)	20,600 (12,300)		
総平均単価		15,900 (10,700)	14,600 (11,200)	14,600 (11,700)		

m³単価()は令和2年度

事務局
 年末年始休業のお知らせ
 12月30日(木)
 1月5日(水)



組合事務局の月一回休業
 (土曜日)のご案内
 (1月~6月)

1月29日(土)
2月26日(土)
3月26日(土)
4月23日(土)
5月28日(土)
6月25日(土)

株新宮原木市場
 第56期
 定時株主総会

昨年8月27日(金)、新宮木材会館に於いて株新宮原木市場の第56期定時株主総会が開催され、提出議案はすべて原案通り承認可決されました。



谷口社長の挨拶

《行事予定》

- 1月22日(土) 株新宮原木市場 新春初市 午前10時~
- 2月1日(火) 末社詣り
- 3月18日(金) 株新宮原木市場 熊野木まつり記念市 午前10時~

編集後記

◇正月号の表紙は木霊塔行事の式典会場を紹介しました。県道拡幅工事の関係でこの場所での式典は令和3年度で最後になりました。新年度からは場所を少し変更し全体的に敷地内の規模をコンパクトにして実施することとなりました。この場所が昭和47年(1972年)以降50年に亘り、木霊塔を建立し木霊に感謝し供養を続けてきましたが、今後は新たな場所でも末永く木材界の将来を見守って頂くよう厳かに供養式を執り行つて参ります。

◇背景には新宮・紀宝道路の熊野川に架かる橋梁部分の工事が進められております。あと3年足らずで完成し車の流れも変わってくるでしょう。

◇新型コロナウイルスの感染も秋以降急激に減少しました。ワクチン接種の効果が出たのか、ウイルス自体の感染力が弱まったのか理由は分かりませんが、外国では変異株の発生により増加傾向の所もあります。油断しないで第6

波への備えとしてマスク着用、手・指の消毒を徹底し3密に注意しながら生活しましょう。

◇今年の干支は寅です。昨年はもう少しのところまで優勝を燕にさらわれました。寅年に優勝し、話題の監督率いる日本ハムと日本シリーズになったらすごく盛上がるでしょう。

◇医療センターでは今年3月以降産科の予約を中止するらしい。少子化対策としてこども家庭庁が発足するらしいが、基本となる産科が無くなれば安心して子供を産み育てることが出来ない。地方創生などかけ声ばかりで基本的な体制がとれなければ、地方の過疎化は更に進むでしょう。

◇昨年の衆議員選挙を受けて第2次岸田内閣が発足を通過し執行されることとなりました。バラマキではなくコロナで大きな打撃を受けた人、業者に適切に行渡るよう願います。

「ゆつたりした佳きお年をお過ごし下さい」

